

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	入居時に運営推進会議の説明と参加の促しを行ったり、議事録などの提示も行っているが、なかなかご家族様などの参加には、結び付いていない。	毎回1家族以上の参加を目指します。また、認知症の症状が軽度のご利用者様の参加も今後検討いたします。	請求書と一緒に議事録と次回のお知らせを毎回送付いたします。また、来苑時や家族会などでもお声掛けいたします。	6ヶ月
2	4	特養や小規模多機能と合同である為、GHの持ち時間が短くなりがちである。そのため、相談内容やアピール時間が限られている。	より充実した、運営推進介護の実施を行いません。利倉清豊苑として相談、アピールするのではなくGHできる場にする。	各管理者と施設長で話し合い、それぞれの特色を生かしたり、相談できる発表の行ないかたを検討します。	6ヶ月
3	18	ほとんどがご家族様が連れて行ってくださる方ばかりの外出になっている。施設の周りには、工場が多く公園などが無いため、他の利用者様は誕生日の時などの外出しかできていない。	全利用者様が2か月に1回以上施設の外(少し遠出)へ出られるように援助します。	現在行っている菜園や洗濯干しは、今後も継続し、積極的に行っていく。月に1回程度季節の感じられる様な外出企画を計画し、外出の機会を増やす。人員確保のため、シフトの工夫を行なう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。